

令和8年度除雪ドーザ（8 t 級）購入

仕様書

長野県 中野市

1 概要

本仕様書は、除雪ドーザ(8 t級、車輪式、汎用プラウ)に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は運輸省令昭和26年第67号(以降の改正分を含む。)
「道路運送車両の保安基準」に適合するもの、又は平成17年法律第51号「特定特殊自動車技術基準」に適合するものでなければならない。

本仕様書に明示されている数値は標準の設計値とし、本仕様書に明記されていない箇所については、中野市(以下「甲」という。)と物品供給人(以下「乙」という。)が協議の上、決定するものとする。

2 性能

- (1) 除雪幅(アングル角約30度において) 2,700mm以上
- (2) 除雪能力(プラウ排雪) 1,900t/h以上
- (3) 走行速度(前進) 30km/h以上
(後進) 15km/h以上
- (4) 最大けん引力 56.0kN以上
- (5) 最小回転半径(最外側車輪中心) 4.7m以下

3 主要諸元

- (1) 全長(除雪装置地上、ストレート時) 6,900mm以下
(除雪装置地上、約30度アングリング時) 7,600mm以下
- (2) 全幅(車両単体) 2,300mm以下
- (3) 全高(黄色灯火上端まで) 3,700mm以下
- (4) 最低地上高 300mm以上
- (5) 車両総重量 7,000kg以上～9,000kg以下
- (6) 乗車定員 2人

4 車体

- (1) 機関
 - ① 形式 水冷、ディーゼル機関
 - ② 定格出力 65kw以上
- (2) 動力伝達装置 前後進、速度段の切換え操作が円滑にできる構造とする
- (3) タイヤ
形式 スノータイヤ
- (4) かじ取装置
 - ① 形式 車体屈折式
 - ② かじ取角度 35度以上

(5) 運転室

- ① 構造 全鋼製密閉形
- ② 窓 (前・後) 冬用ワイパーブレード付

5 除雪装置

(1) 形式 汎用プラウ

(2) 質量 1,000kg以上

(3) 能力

- ① 切刃昇降範囲 (ストレート時、切刃下端) 地下100mm～地上3,000mm以上
- ② アングリング角度 V逆V各30度以上
- ③ 上昇速度 (機関定格回転速度において) 500mm/s以上

(4) プラウ

- ① 構造 鋼板円筒曲面構造
- ② 全幅 3,100mm以上
- ③ 全高 800mm以上
- ④ そり 除雪装置の接地状態を調整できるそりを有すること。
- ⑤ 切片 ストレート形平形刃先 (JISD6101)

6 計器類

(1) 速度計又は機関回転計 1式

(2) 燃料計 1式

(3) アワーメータ 1式

(4) タスクメーター 1式

(5) 機関油圧計又は機関油圧警告灯 1式

(6) 水温計 1式

(7) 充電警告灯 1式

7 照明装置類

(1) 前部霧灯又は前方作業灯 2灯以上

(2) 後方作業灯 2灯

(3) 黄色灯火 (散光式) 全幅1,100mm以上 1灯

8 付属装置及び付属品

(1) メインスイッチ 1式

(2) バックモニター 1式

(3) ドライブレコーダー 1式

(4) バックブザー (道路運送車両の保安基準に適用) 1式

(5) カーエアコン 1式

- (6) ウインドウォッシャー（前面、電動式） 1 式
- (7) 標識板（300×570mm以上、車体後部取付） 1 式
- (8) 標準付属工具 1 式
- (9) アンダーミラー（後） 1 式
- (10) 取扱説明書 1 部
- (11) 部品表 1 部
- (12) 履歴簿 1 部

9 塗装

国土交通省建設機械塗装基準による。

10 検査

乙は十分な、ならし運転完了後に検査を受けるものとする。

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

検査に要する器具、人員等は乙において準備するものとする。

なお、上記検査以外に中間検査を行い、試験記録などを提出させることがある。

11 保証

納入後、1 か年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、乙は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が1 か年以上にわたる場合には、それを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、甲と乙が協議の上、乙に無償修理を行わせることがある。

12 その他の事項

(1) 納入期限

令和8年11月27日（金）

(2) 納入台数 1 台

(3) 製造期日等の指定

納入機は2025年度製以降の新車でなければならない。

(4) 灯火の取付方法の指定

黄色灯火の取付方法は、次のとおりとする。

- ① 黄色灯火の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について（昭和55年6月5日付け、建設省機発第473号以降の改正分含む）」に準じるものとする。
- ② 黄色灯火は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、黄色灯火の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

(5) 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

(6) 緩和申請等について

本履行に当たり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については乙が行うものとする。また、これらにかかる費用は乙の負担とする。

ただし、これにより難い場合は甲の指示を受けるものとする。

(7) 輸送費の明示

輸送費について、契約書に明示すること。

(8) その他の仕様

① オイル及び燃料系統の注入口には鍵をつけること。

② 電気系統のコイルは結束すること。

③ 甲の指示により、機械本体に購入補助事業名等の文字表示を行うこと。

④ 前後面熱線ガラス、チェーン（チェーンバンド、リング付き）、床マット、プラウを計上すること。

⑤ 振動抑制装置の設置については、標準装備でない場合、特に指定しない。

(9) 契約の時期

本件については、市議会の議決に付さなければならないため、落札決定後に売買仮契約を締結し、市議会の議決後に本契約を締結するものとする。